

2025年6月13日 Vol.244

梅雨入りの中でも株式相場は底堅い展開

前号で6月のIPO銘柄が6銘柄としていましたが、もう1銘柄追加となり7銘柄となりましたので恐縮ながら最初に訂正の一言。20日の伊澤タオル（365A・S・公開価格750円）から始まり23日のウェルネス・コミュニケーションズ（366A・G・公開価格2480円）、24日のプリモグローバルホールディングス（367A・S）、25日の北里コーポレーション（368A・P）、26日のエータイ（369A・G）、30日のリップス（373A・G）、レント（372A・S）と続くこととなります。

既に関東も梅雨入りした状態でジメジメとした天候が続きますが、その中で個別材料銘柄を中心に株式相場は比較的底堅い展開を見せています。自己株買いやMBOなどの活発化で市場の需給がこのところ良くなっている状況が感じられます。3万8000円台まで戻ってきた日経平均をはじめとした指数にはやや頭重い展開も感じられるようになってきましたが、このところはビットコイン関連のメタプラネット（3350）やANAP（3189）などに人気集中。米騒動で直近人気化した米卸の木徳神糧（2700）や米袋の、のむら産業（7131）など普段は地味な銘柄にもメディアの大騒ぎもあり個人投資家のリスクマネーが向かっているとの印象です。少し個別株の上昇で余裕が出てきた個人投資家が次に向かうとしたら、今月のIPO銘柄になるのではとも思えるなかなかの好内容ぶりがそれぞれの上場時の開示情報資料から窺えます。

過去半年程度のIPO銘柄の株価変動を眺めるとまだまだ公開価格や初値を下回っている銘柄も見出せる一方で、モノづくり企業のM&Aで成長を遂げている技術承継機構（319A・G・初値2700円⇒高値6340円、時価4520円）やセキュリティソリューションのZenmuTech（338A・G・初値5000円⇒高値16520円、時価16200円）、健康関連衣料のTENTIAL（325A・G・初値2600円⇒高値4600円、時価4500円）、社会インフラのメンテナンス関連のトヨコー（341A・G・初値871円⇒高値2794円、時価2343円）などグロース銘柄が人気を集め、大きく株価を押し上げています。6月のIPO銘柄はいずれも好内容ではありますが、こうした潮流を踏まえると、どちらかと言うとその中でもグロース3銘柄（ウェルネス・コミュニケーションズ、エータイ、リップス）に注目が集まりそうですが、流動性の視点では少子高齢化の中で不妊治療に関する医療機器製造の北里コーポレーションもこのところやや不人気のプライム銘柄ながら比較的人気を集めやすいと言えそうです。

グロース3銘柄の中では高齢化の中で永代供養墓の企画・建立・運営・販売代行のエータイが気になるところです。同社の今8月期の業績は売上高28.55億円（前期比+20.2%）、営業利益7.28億円（+43.9%）、EPS107.8円（配当金38.05円）という見通し。既に中間期で売上高14億円、営業利益4.12億円と順調に進捗していますので上場後の展開が気になるところです。いずれにせよ、これまでのところ、人気復活のグロースIPO銘柄の株価が大きく上昇を見せている事例が多く、今後もポートフォリオをこうした潮流に沿って構築することによって運用成果が高まるものと期待されます。（東京IPOコラムニスト 松尾範久）